

なは女性センター講座2021

おとなが学ぶ 子どもの「スマホやネット」の世界!



新型コロナウイルス感染症対策に伴い、小中高校ではオンライン授業が本格導入されました。スマートフォンやインターネットが子どもたちにとって身近で便利な道具となる一方、不確かな情報に惑わされ、トラブルに発展するケースもあります。講師のモバイルプリンスさんこと島袋コウさんは、「スマホやネットは『車』と似ています。マナーを守って運転すれば、遠くまですぐに移動できる便利な相棒となります。一方、無免許で運転すると人を傷つけてしまう『凶器』になります。自分が傷つかない、誰かを傷つけないためにもマナーや仕組みを知ることが大切です」と話します。

今回の講座では、オンライン上の「子どもたちの世界」を学びます。おとなも子どもも、楽しくスマホ・ネットを使用する方法について一緒に考えてみませんか？

日時：**3月26日(土)**
午後**2時**～**4時**

講師：島袋 コウ/モバイルプリンス
(スマートフォンアドバイザー)

会場：なは女性センター 第2学習室

対象者：関心のある方

定員：24人(事前申込先着順)

●講師プロフィール

1987年生、沖縄県出身。お笑い芸人・携帯電話ショップ勤務の経験を活かし、スマホ・ネット活用の方法を楽しく、分かりやすく伝える。琉球新報の小中学生新聞「りゅうPON!」での連載や、RBC i ラジオ「アップ!!」木曜コメンテーターなど、様々な場所で情報を発信。



▲当センターで貸し出しできます。

2020年、初の著書『しくじりから学ぶ13歳からのスマホルール』(旬報社)を出版。沖縄国税事務所より「スマート申告納税大使」に任命される。現在、那覇市の「男女共同参画会議委員」を務める。



- * 一時保育は当面の間、休止いたします。手話通訳をご希望の方は3月18日(金)までにお申し出ください。
- * 新型コロナウイルス感染症などの状況により、変更する場合があります。

なは女性センターを利用される皆さまへご協力をお願い



「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。

講座を終えて

講座名:職場で活かそう!「考え方のクセを知り、伝え方のコツを学ぶ」
開催日:2022年2月19日(土) 午後2時~4時30分 参加者:20人
講師:高良恵利子(社会保険労務士・産業カウンセラー)



▲講師の高良恵利子さん

今回の講座では、自分の考え方にはどのようなクセがあるのか、そのクセがもたらすこと、その後の自分の行動とどうつながるのか、認知のしくみについて学びました。

まず、思い込みや不安によるいくつかのコミュニケーションパターンから、思考の修正の方法について講話があり、配布資料の「職場での自己表現チェック」シートに記入し、自分が普段、人との対話で感じる感情に向き合い、言いたいことを伝えられているかを確認しました。

途中、換気休憩を挟み、「職場でのできごと」について、4人1組でグループワークを行いました。違う職種や立場でも同じような悩みを持たれている方もいたようで、参加者同士の意見交換で感じたことを話し合いました。

講座後半では、講師から伝え方のコツについて、3つのポイント「自分の気持ちや考えに向き合い、意見をはっきりとさせること」、「意見を表現するためにスキルを身につけること」、「相手に関心を持ち、気持ちを理解しようとする」との話がありました。

また、物事の起こった事実に対して、多方面から物事をとらえる、立ち止まって考えてみるなどと、繰り返し練習することが考え方のクセの改善になるそうです。そして、事が済んでしまっからの気持ちの切り替えなど、妥協案や解決策を提案できるよう、修復の努力をすること、自分をフォローする準備も必要とのことでした。



▲グループワークの様子

受講者の多くは、職場でのコミュニケーションがうまくいかず、伝え方のスキルを身につけたいとの思いで参加された方で、「客観的に物事をとらえることの大切さを感じた」、「グループワークで共感してもらえてよかった」、「自分を見つめ直すこと。怒りの対処法など勉強になりました」などや、「分かりやすい内容だったので実践してみます」との声も寄せられました。



「若年層の性暴力被害予防月間」

期間:4月1日(金)~30日(土)

令和2年度から令和4年度までの3年間を性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」としています。

10代・20代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。なりすました相手から、言葉巧みに誘導され、自分の裸の画像を送信させられたり、SNSで知り合った相手に誘い出され、わいせつな行為をされたりするなど、SNSを利用した性被害が起きています。あなたが望まない性的な行為は、どんな理由・相手でも性暴力です。性暴力に関する情報をみんなで共有して、社会全体で性暴力をなくしていきましょう。

**あなたの望まない性的な行為は、
どんな理由・相手でも性暴力です。**

性犯罪・性暴力で悩んでいる方へ、一人で悩まず、ご相談ください。



▲令和4年度ポスター(内閣府)

内閣府
性暴力に関するSNS相談
(キュアタイム)



警察庁
性犯罪被害者電話相談



ハートさん
#8103

成年年齢
20歳→18歳

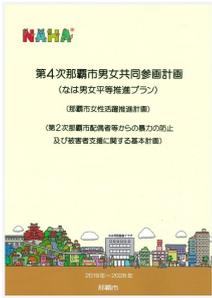
2022年4月1日から
成年年齢が引き下げられます

18歳・19歳の方は、未成年であることを理由とした契約の取り消しができなくなります。より一層の注意が必要です。

その⑨

なは女性センター 25周年

25周年を迎えるにあたり、
そのあゆみを振り返ります。



▲計画の期間
2019(令和元)年度～
2028(令和10)年度。中
間年度にあたる2023
(令和5)年度に、中間
見直しを行います。

市では男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画に関するさまざまな施策に積極的に取り組んでいます。しかし、いまだに女性に対する暴力などの人権侵害や固定的な性別役割分担意識とそれに基づく慣行や慣習、政治や政策決定過程における男女差や職業における男女の格差等、多くの課題が残されているため、その課題を解決し、性別、世代、地域を越え、互いに協働し、一人ひとりが生き生きと豊かに暮らせる市民社会の実現を目指し、総合的かつ計画的に推進するためのプランを策定しました。

この計画では「第2次那覇市DV防止基本計画」を基本目標の一つとして盛り込み、女性活躍推進法に基づく本市の「女性活躍推進計画」としても位置づけています。

第4次那覇市男女共同参画計画(なは男女平等推進プラン)策定

「なは女性センター25周年記念シンポジウム」開催！

昨年10月1日になは女性センター開館25周年を記念して、女性センター設立以前から深い関わりのあった3人のパネリストをお招きし、「なは女性センターの役割、そして、これからを考える」をテーマに座談会を開催しました。女性センターの成り立ちや、ジェンダー平等実現のための拠点施設となる女性センターの課題について、熱い思いを語っていただきました。

座談会を通して25年の歴史を振り返ってみると、女性センターが設立された以前の女性たちの「あしあと」が見えてきました。例えば国連の「国際女性年」(1975)や「国連女性の10年」(1976-1985)、世界女性会議NGOフォーラム、うないフェスティバル(1985-2014)などです。1970年代や1980年代という女性たちの活動の系譜をたどることで、「なは女性センター」が果たしてきた25年間の役割と意義、そしてこれからの未来について考えることができる時間となりました。



▲左から(山城紀子さん・高里鈴代さん・宮城晴美さん)

*座談会の様子を
冊子にまとめる
予定です。

Book

★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。★貸出し期間:2週間 お一人2冊まで

オススメ本を
ご紹介します！

①『せやろがい！ではおさまらない』

せやろがいおじさん 著 / ワニブックス / 2020年10月20日 発行 / 189頁

「SNS上で叫んでいる、ふんどし姿のおじさんを見たことはありませんか？それが僕です」。せやろがいおじさん(榎森耕助さん、お笑い芸人)が考える、みんなが「思っていることを言い合える、風通しのいい世の中」(188-189頁)。本書は、選択的夫婦別姓制度や差別の問題、LGBTQ+、基地問題、働き方など、近年議論されている社会問題が記されています。クスッと笑えたり、うちあたいたり、「知るきっかけ」となる1冊です。



②『図解でわかる14歳からのLGBTQ+』

社会応援ネットワーク 著 / 太田出版 / 2021年9月28日 発行 / 95頁

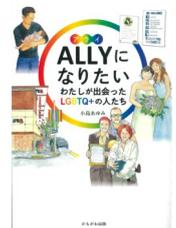
持続可能な開発目標(以下、SDGs)とLGBTQ+の関係を理解しやすく解説した本書。17ある目標のうち、8項目に着目し、どのような問題や課題があるのかを簡潔に示しています。LGBTQ+の当事者でなくても、ALLY(アライ)になることや、日常生活、法律・制度、文化・表現などのテーマで記されており、特に、LGBTQ+に関連する用語の意味や解説などが紹介されているので、読み進めやすく、子どもも大人も一緒に学ぶことのできる1冊です。



③『ALLYになりたい』—わたしが出会ったLGBTQ+の人たち

小島あゆみ 著 / かもがわ出版 / 2021年9月24日 発行 / 183頁

ALLY(アライ)とは、「性的マイノリティの味方、同盟者、支援者」という意味です。国際的な機運も重なり、昨今の日本でも性の多様性が社会的に認知されはじめています。もし家庭や学校、職場など、身近にLGBTQ+の当事者がいたのなら、あなたができるサポートはなんでしょうか。もしあなたの友だちが勇気を出して、あなたに自分が性的マイノリティであるとカミングアウトしたら…。私たちにできることはたくさんあります。そう思える1冊です。



相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

 **098-861-7515**
月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供



相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。



性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

那覇市パートナーシップ登録

「那覇市パートナーシップ登録」は、戸籍上の性別が同じである2人の申請に基づき、市長が両者をパートナーシップ関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、証明書を交付するものです。

■「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(婚姻、相続、税金の控除など)が生じるものではありません。

登録数 **44** 組
2022年3月15日現在

■お問い合わせ・申請の予約■

TEL. **098-951-3203** ◆月～金:午前9時～午後5時
* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始を除く

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

主催：市民団体ていーだあみ tiidaami.okinawa@gmail.com

※「レインボー交流会okinawa」で検索すると、フェイスブックで最新情報を確認できます。

→ <https://www.facebook.com/rainbow.okinawa/>



with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ



#8891

24時間 365日



※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。また手話通訳、一時保育(現在休止中)の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)
TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204
Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

お問い合わせ

開館時間

休館日

月～金:午前9時～午後9時 年末年始(12/29～1/3)

土曜日:午前9時～午後5時 日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間までごとに	100円
※利用時間に1時間に満たない端数は1時間として計算。	

駐車場のご利用について



●ゆいレール「古島駅」から徒歩10分

「おもろまち駅」から徒歩20分



●路線バス ★なは市民協働プラザ前バス停 10 牧志新都心線

★銘苅一丁目バス停 8首里城下町線 徒歩3分

[国道330号側] ★興南高校前バス停 ★真嘉比バス停 徒歩7分

[県道82号側] ★古島バス停 徒歩7分



メール



ホームページ



Facebook